



[ホーム](#) > [お知らせ一覧](#) > 記事2014/11/03

Vol.60 仮園舎から見える工事中の景色



現場所長(たいちょう)の佐々木です、皆さまこんにちは。
このコーナーの編集長を担当させて頂き、今回で早や60回目の更新となりました。

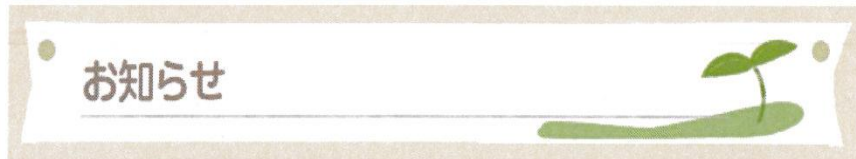
今日は仮園舎(プール・こどもセンター)から見える工事現場の様子をお届けします。
手前に睡をかけている子どもたち、
工事の資材搬入に伴い入場してきたクレーン車を見ながらお絵かきをしているところです。
工事事務所からもその様子が見えたので私も近寄り、出来栄を見せてもらいましたが、
その表現力や観察力には目を見張るものがありました。
「えっ!、幼稚園児の子どもたちって、ここまで絵が描けるの?」と。
そこには、クレーン車の車体だけでなくタイヤとホイールを締付けるボルトまできっちり表現している子がいます。
また運転手の姿、表情のみならずヘルメットやなんとあご紐に至るまできちんと描けている子もいました。
園伯です。
将来は腕をみがき、この中から著名な画家が誕生するのでは?と思われました。

ちなみに工事中の現場は、進捗状況を熟考し安全を第一に保ちながら
仮園舎側からいつでも見れるようにしています。
それは、
工事の状況を全てオープンにすることで事業主様・設計士さん・園関係の方々々に安心してもらい、情報も共有して頂くため。
子どもたちに対しては、工事中の生活が考え方・使い方によっては生きた教材となること、
出来れば今の体験が成長した時の思い出ともなり得ないかという思い。

通常は建設会社やその現場所長は、私と全く逆の管理体制を取ります。
工事中は全てを目透しのきかないシートで覆い、外部との境界を遮断し工事を閉鎖的に進めます。
そんな業界内の風習などから着工以来、何度も猛反対や反発を受ける事がありました。
ですが、今となってはどの現場より安全管理で実績を認めて頂き工事が推移しているこの地で、
方針を変えるつもりはありません。

12月には、一期工事(現在の仮園舎・プール)に引続き、「たんけんつあー、26ねんど」も開催します。
2人1組で、たいちょうと一緒に手をつなぎ順番でみんなをご案内します。

愛する園児たち、どうぞ楽しみにして下さい。



[ホーム](#) > [お知らせ一覧](#) > 記事2014/10/28

たいちょうイベント第15弾 「きぼうのそらからまどをみよう」



現場所長(たいちょう)の佐々木です、皆さまこんにちは。
今回はたいちょうイベント第15弾、「きぼうのそらからまどをみよう」(工場見学)をお伝えします。

この企画は来年春、希望をもって幼稚園を築立つそら組さんにいち早く新園舎のいろんな部分を見てもらい建設中に生活した事ならではの、心に残る思い出がたくさんできればと思い、立案しました。
ただこのイベント、本当に特別で
通常建設関係の工場で幼稚園さんの受入れを可能にする工場はなかなか存在せず、私の知る限りでも皆無でした。
そんななか、品質・安全ともに絶大な信頼がある一流メーカー、不二サッシさんに依頼し
そのご理解と協力を頂くことで今回実現の運びとなりました。
到着後、説明を聞き早速工場の中へ、、、
子どもたちは実際のサッシの組立てを見たり、養生材を貼付の様子や、出来た網戸をさわってみたりととても喜んでいました。
また、案内ルートの途中には11月に搬入される「ときわかいようちえん」と表示された本番へ向け出番を待つ完成済のサッシも展示してくれていました。
最後には工場の中だけでなく4階にある設計室まで入り、CAD(コンピューターによる作図機能)体験までさせて頂きました。

折りにふれて伝える、たとえば工事現場(今回は工場)を生きた教材とし働くことへの関心や興味を持つきっかけとなり大きな意味での生きる事の喜びなどが少しでも伝えることが出来たのならとてもうれしく思います。
途中スタッフの方から「将来大きくなったら不二サッシで働きたい人」、と問いかけると手をあげる子もいました。それは私も賛成です。
夢ある幼稚園づくり(ここまで一生懸命になって頑張ってくれるスタッフがたくさんいるサッシのトップメーカーさん)君たちも大きくなったら、この人たちのように人に夢を与え続けられるような大きな人間に成長してもらえたら、心から願っています。